

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art



30th
ANNIVERSARY



開館
30周年
記念

江戸の 蔦屋重三郎と

つたや じゅうざぶろう

2025
5.30金 - 7.21月祝

浮世絵の

同時開催

開館30周年記念

日本美術とあゆむ
——若冲、蕭白から新版画まで

珠玉の浮世絵コレクションを一挙公開！

吉原に生まれ、江戸

の浮世絵を語るうえ
で欠かせない存在と
なった葛屋重三郎

(1750-1809)。葛屋が版元として

活動したのは、安永(1772-1818)から寛政
(1789-1801)という時代であり、多色摺
の錦絵が大きな発展を遂げた時期とほとんど



重なっています。なかでも、天明から寛政にかけ

ての時期は、のちに「浮世絵の黄金期」といわ
れ、いっそう奥深く、色彩の繊細な浮世絵が生
み出された重要な時代でした。葛屋もまた黄金
期を盛り立てた人物のひとつといえるでしょう。

西村屋与八や鶴屋喜右衛門などといった老
舗の版元がひしめくなか、葛屋は新興の版元
として出版界に彗星のごとく現れます。斬新
な作品を次々に世に出すことで喜多川歌麿(？

1806)を人気絵師へと育てあげた功績は、
まさに偉業といえるでしょう。また東洲斎写

楽庄没年不詳の発掘は、その後の浮世絵の評
価を大きく変えることとなります。

千葉市美術館の30周年を記念する本展で

は、浮世絵の始祖で房州出身の菱川師宣(？
1694)にはじまり、多色摺の錦絵を創始した
鈴木春信(1725?-1770)、喜多川歌麿、東洲
斎写楽、葛飾北斎(1760-1849)、溪斎英

泉(1791-1848)、歌川広重(1797-1858)

にいたるまでの浮世絵の歴史をたどりつつ、
葛屋が生まれた時代から華やかな黄金期の

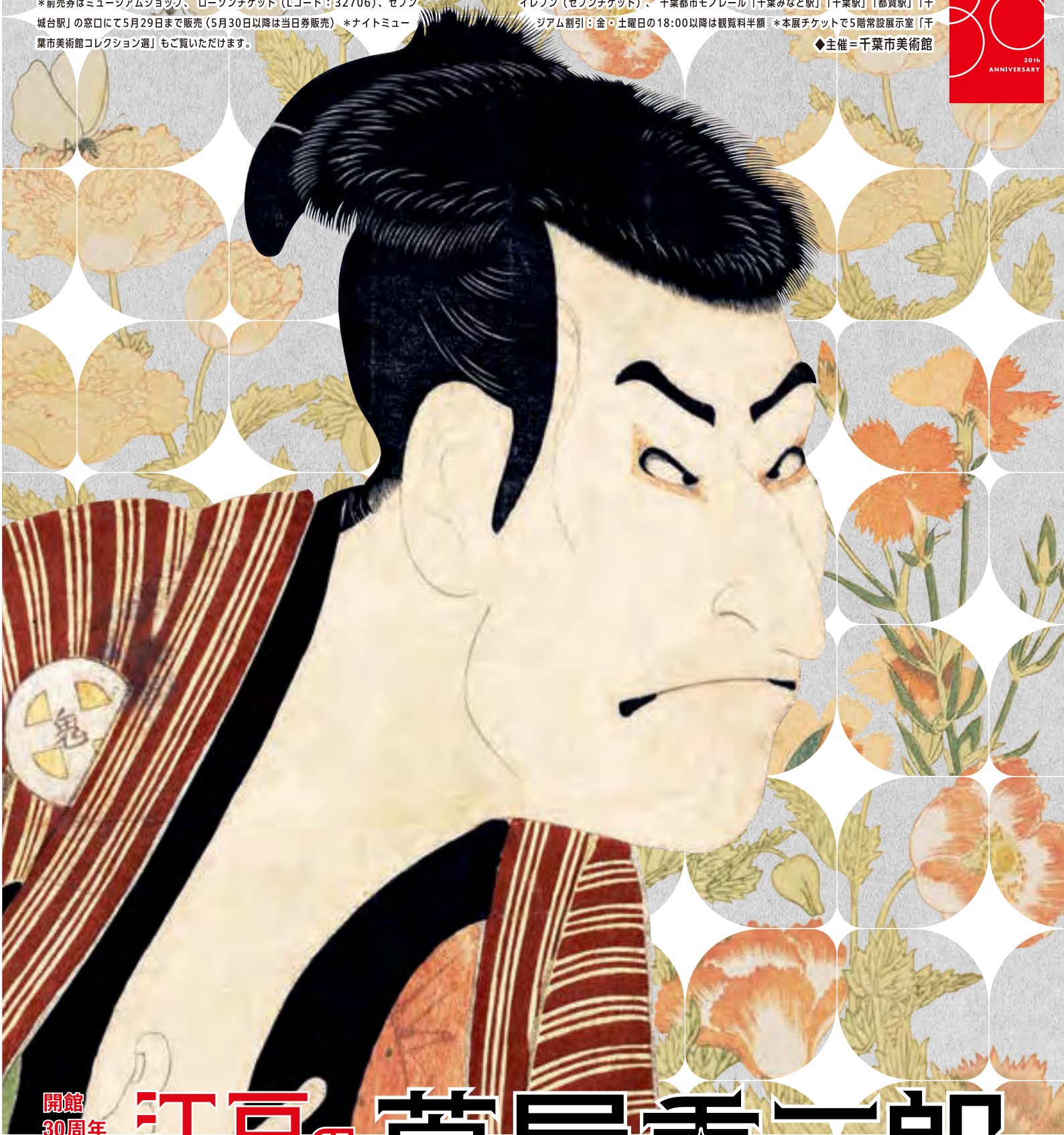
浮世絵への展開、そして「世界のUkiyo-e」へ
と進化していくさまをご紹介します。千葉市

美術館の珠玉の浮世絵コレクションを中心
に、美人画や役者絵の名品の数々をご覧ください。

※全期中に一部展示替えを行います。

◆休室日=月曜日(7月21日は開室)◆開館時間=10:00-18:00(金・土曜日は20:00まで)◆観覧料=一般1,500円(1,200円)/
大学生1,000円(800円)/小・中学生、高校生は無料*障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料*()内は前売り、団体20名以上、市内にお住まいの65歳以上の方の料金
*前売券はミュージアムショップ、ローソンチケット(Lコード:32706)、セブン
イレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千
城台駅」の窓口にて5月29日まで販売(5月30日以降は当日券販売)*ナイトミュー
ジウム割引:金・土曜日の18:00以降は観覧料半額*本展チケットで5階常設展示室「千
葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

◆主催=千葉市美術館



開館
30周年
記念

江戸の
名プロデューサー

2025
5.30金 7.21月祝

葛屋重三郎と

つたや じゅうざぶろう

浮世絵の

開館 30周年記念

同時開催

日本美術とあゆむ
—若冲、蕭白から新版画まで

珠玉の浮世絵コレクションを一挙公開!

葛屋重三郎と浮世絵の

関連イベント

◆講演会「葛屋重三郎 江戸の文化プロデューサー」

講師：池田芙美氏（サントリー美術館副学芸部長）

6月7日（土）14:00～（13:30開場予定）／11階講堂にて／

先着80名（当日12:00より1階にて整理券配布）／聴講無料（要観覧券チケット）

◆千葉交響楽団メンバーによるコンサート

7月20日（日）11:00～（10:30開場予定）／1階さや堂ホールにて／

先着80名（当日10:00より会場前にて入場券販売）／入場料：1,000円（高校生以下500円）

◆市民美術講座「浮世絵の誕生からジャポニスムまで」

講師：染谷美穂（当館学芸員）

7月12日（土）14:00～（13:30開場予定）／11階講堂にて／

先着80名（当日12:00より1階にて整理券配布）／聴講無料（要観覧券チケット）

◆担当学芸員によるショートレクチャー

6月11日（水）、28日（土）14:00～／1階多目的室にて／先着30名程度／参加無料

◆美術館ボランティアによる多色摺木版画体験

7月13日（日）／5階ワークショップルームにて／参加無料

※開催時間等詳細は、決まり次第美術館ホームページでご知らせします。

◆美術館ボランティアスタッフによるギャラリートーク

会期中の毎週水曜日（6月4日を除く）14:00～

先着15名（当日13:30より8階受付にて整理券配布）／参加無料（要企画展チケット）

※水曜日以外の14:00にも開催することがあります。※混雑時には中止する場合があります。

◆ちばしび託児サービスデー

6月7日（土）13:00～16:00（事前申込制）

※詳細、申込方法は美術館ホームページをご確認ください。



①鈴木春信《三十六歌仙》藤原仲文）中判錦絵 明和4-5年（1767-68）頃（6/22まで展示）②葛飾北斎《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》大判錦絵 天保2-4年（1831-33）頃 ③喜多川歌麿《画本虫撰》彩色摺絵入狂歌本 天明8年（1788）（真替え）④喜多川歌麿《当時三人 富本豊ひな 難波屋きた 高しむさ》間判錦絵 寛政5年（1793）⑤歌川広重《名所江戸百景 亀戸天神境内》大判錦絵 安政3年（1856）／表面：東洲斎写楽《三代目大谷鬼次の江戸兵衛》（部分）大判錦絵 寛政6年（1794）／すべて千葉市美術館蔵

同時開催

開館30周年記念

日本美術とあゆむ——若冲、蕭白から新版画まで

千葉市美術館では、開館以来、江戸時代～近代の絵画や版画の収集・調査研究を継続し、その成果を展覧会に反映させてきました。開館30周年という節目の年を祝う本展では、これまで開催してきた各展覧会、作品収集の軌跡なども紹介しつつ、当館コレクションのハイライトをご覧ください。お馴染みの名品から、知られざる逸品まで。コレクションをより深く知り、楽しんでいただく展覧会です。 ※「葛屋重三郎と浮世絵のキセキ」をご観覧の方は無料

○講演会「千葉市美術館の若冲——『乗興舟』を中心に」

講師：佐藤康宏氏（東京大学名誉教授）

7月5日（土）14:00～（13:30開場予定）／11階講堂にて／先着80名（当日12:00より1階にて整理券配布）／聴講無料（要観覧券チケット）

○市民美術講座「曾我蕭白の奇想——千葉市美術館コレクションにみる」

講師：松岡まり江（当館学芸員）

7月19日（土）14:00～（13:30開場予定）／11階講堂にて／先着80名（当日12:00より1階にて整理券配布）／聴講無料（要観覧券チケット）

○担当学芸員によるショートレクチャー

6月13日（金）17:30～、7月13日（日）14:00～／1階多目的室にて／先着30名程度／参加無料



⑥吉田博《光る海 瀬戸内海集》木版多色摺 大正15年（1926）⑦曾我蕭白《寿老人・鹿・鶴図》（部分）紙本着画3幅 宝暦8-9年（1758-59）頃 ⑧伊藤若冲《鸚鵡図》絹本着色1幅 宝暦（1751-64）後期～明和（1764-72）頃／すべて千葉市美術館蔵

5階常設展示室

「千葉市美術館コレクション選」

休室日：第1・3月曜日（祝日の場合は翌平日）／企画展をご観覧の方は無料

4階子どもアトリエ

「つくりかけラボ17 井上尚子 | 記憶の標本室

— Life is Smell project — KUNKUN Laboratory」

2025年2月12日（水）～6月1日（日）休室日：3月3日（月）、4月7日（月）、21日（月）、5月7日（水）、19日（月）／観覧無料

「つくりかけラボ18 池田光宏 | きっとこれも誰かの仕業」

2025年6月11日（水）～9月28日（日）休室日：第1・3月曜日（祝日の場合は翌平日）／観覧無料

次回展予告

「開館30周年記念 千葉市美術館と現代美術」

2025年8月2日（土）～10月19日（日）

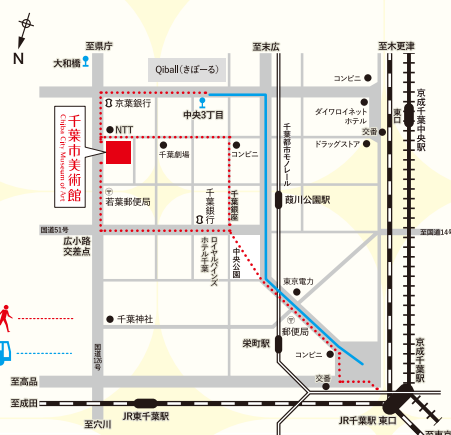
交通案内

■JR千葉駅東口より／徒歩約15分／バスのりば7番より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分／千葉都市モノレール県庁前方面行「霞川公園駅」下車徒歩約5分

■京成千葉中央駅東口より／徒歩約10分

■東京方面から車では／京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く

※地下に機械式駐車場があります（車高155cmまで）。※シェアサイクルスポットがあります。



千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

〒260-0013 千葉市中央区中央3-10-8
Tel: 043-221-2311 (代)
<https://www.ccma-net.jp>



内容やイベントが変更になる場合があります。最新の状況はホームページをご確認ください。